

市報 いしおか 9月号

市の人口 (9月1日現在)

世帯数 13,721世帯 18世帯増
人口 男 24,127人 33人増
女 24,660人 38人増
計 48,787人 71人増

発行：茨城県石岡市役所 〒315 石岡市大字石岡3165番地の2
昭和56年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

—318—

1. しごとに誇りをもち、栄えるまちをつくります。
1. きまわりを守り、住みよいまちをつくります。
1. からだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
1. たがいに助けあい、楽しいまちをつくります。



災害についての認識を深めよう！防災の日に市内をパレード

日本は世界の地震の10%を引き受けているといわれるほど地震の多い国です。体で感じることでできる『有感地震』は、1年間に千件前後発生しています。市消防本部では、防災の日(9月1日)に、市民のみなさまの防災意識の高揚と火災予防思想普及のため、市内パレードを行いました。

パレードには、少年消防クラブ(石岡小・府中小・三村小) 婦人防火クラブ、消防団、消防本部の約250人と車輛21台が市内を4班に分かれ実施しました。また、石岡小学校少年消防クラブに、日本防火協会より鼓笛隊の楽器が寄贈され、パレードに参加しました。



「石岡ばやし」ポートピア'81に出演

神戸市で開かれた博覧会「ポートピア'81」の国際広場会場に「茨城県ふるさとの日」の催し物として、県指定民俗無形文化財「石岡ばやし」一行47名が、さる7月31日に参加してまいりました。

大鼓、笛、カネの演奏に合せ獅子舞、ひょっとこ、おかめ、きつね踊りを、スタンドの観衆に披露し、郷土芸能の素晴らしさに、万来の拍手があがり、会場を大いに盛り上げ、科学万博つくば'85の宣伝と石岡市のイメージアップにつくしました。

また、市観光協会役員による石岡物産のます酒接待が、会場の入口で行われ好評でした。出演者一行のみなさん、ほんとうにご苦労さまでした。

内坂	木間	柴崎	海東	菊地	山口	藤井	藤野	浅野	仁吉	儀間	山内	小松	色川	友常	石崎	濱崎	張野	中替	高鉢	山橋	幕内	清水	渡辺	柳沼	島田	芝田	森田	矢口	石塚	浅倉	元木	関木	島田	冷水	中島	
はきて	まくる	寅松	寛郎	惣隆	安夫	とす	ふく	吉春	きみ	きく	ふく	ふく	むめ	たけ	さき	まさ	まき	竹三	みどり	きよ	よね	わく	彦	イ	く	ぶ	ま	誠	よ	つ	た	か	ね	は	る	よし
92	91	94	90	91	94	92	90	98	90	90	95	90	90	91	92	96	91	90	90	98	90	92	92	90	93	90	90	90	92	94	92	96	91	90	90	91
井関	井関	井関	石川	三村	東田	高浜	高浜	出山	小井	兵崎	大和	茨木	田島	貝地	泉	総社	若松	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮	若宮

敬老の日・老人福祉週間 人生に定年なし

お年寄りの生きがいを考える

いま、百人のうち九人が六十歳以上のお年寄り——これが三十四年後の昭和九十年には十八人と二倍に増えると予測されています。

三十四年後に六十五歳になる人、つまりお年寄りの仲間入りをするのは、いま働き盛りの三十一歳。よく言われる高齢者問題というのは、なにもお年寄りだけの問題ではなく、若い人たちのやがて直面しなければならぬテーマであり、そして社会全体の課題でもあるのです。

同時に、わが国人口の高齢化は、諸外国に例を見ないテンポと規模で進むことも、あわせて考えておかなければならない問題です。

九月十五日は「敬老の日」また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

人生に定年なし——この機会に老人の生きがいについて考えてみましょう。また、市内の高齢者の紹介をし、いつでも健康で楽しい毎日を送っていただきたいものです。



「思いやり」が生きがいを奪うことも……

ある家庭での話です。

「畑仕事を続けたい。ツルがもう一メートルにも伸びた。いま手入れをしないと、いいカボチャができない」

おじいさんは、畑仕事が唯一の楽しみでした。近くの農家から借りた、狭いながらも、自分の「畑」に通い、四季折々の野菜づくりにいそいそと暮らしていました。喜びを感じていました。娘夫婦と三人の孫にいつも新鮮な野菜を食べさせたい——これがおじいさんのなにより生きがいでした。

この日以後、おじいさんは部屋に引きこもりがちになり、その上、悪いことに生来の持病まで再発してしまつたそうでした。これは極端な例かもしれませんが、この話には、わたしたちが高齢者問題を考える上での貴重な教訓が含まれています。

「お年寄りに対する思いやり」が逆に「生きがいを奪う」結果を招く場合が、往々にしてあるということです。

総理府が行つた「高齢化問題に関する世論調査」(昭和五十五年十月)によりますと、「老後はどのようなことを境に始まるか」に対する主な回答は、次のようになっています。

仕事をやめた時	23%
年金をもらつた時	21%
これを男性だけについてみま	
すと「仕事をやめた時」が三八%	
%でトップを占め、一般に言わ	
れる「定年後クツとふけこむ」	
ということが、なるほどどうな	
ずけます。つまり「意欲を失う」	
ことが老化を進めているとい	
ていいでしょう。	
お年寄りの生きがいを考える	
とき、わたしたちが心したいの	
は「積極的に生きようとする意	
欲を奪つてはならない」——こ	
れが基本です。	
人生には定年がないのですか	

市内には 九十歳以上 三十七人

市内には、八月一日現在で六十五歳以上のお年寄りが四、四三二人おります。

このうち、七十歳代が二、〇九四人、八十歳代が六二九人、九十歳以上が三十七人おります。

最高齢者は、九十八歳の高橋きよさん(国府五丁目五十七)と藤井するさん(出し山)の二人です。

今月は、多年にわたり社会進出に寄与されたことに感謝申し上げ、いつまでもお元気で、長生きしていただきたく九十歳以上の高齢者のご紹介をいたします。

(八月一日現在……敬称略)

市長室 アラカルト 山本吉蔵

頼り、土質は変質して行く。限られた面積を最も有効に二重にも三重にも利用して、有効利用の限界に挑戦しなければならぬ時に憂い深い時勢ではないでしょうか。

霞ヶ浦の水を綺麗にするためのキャンペーンは果をあげ、流域市町村をあげ続けていますが市民の皆さん方が相呼応して協力して下さらないと不可能なことです。

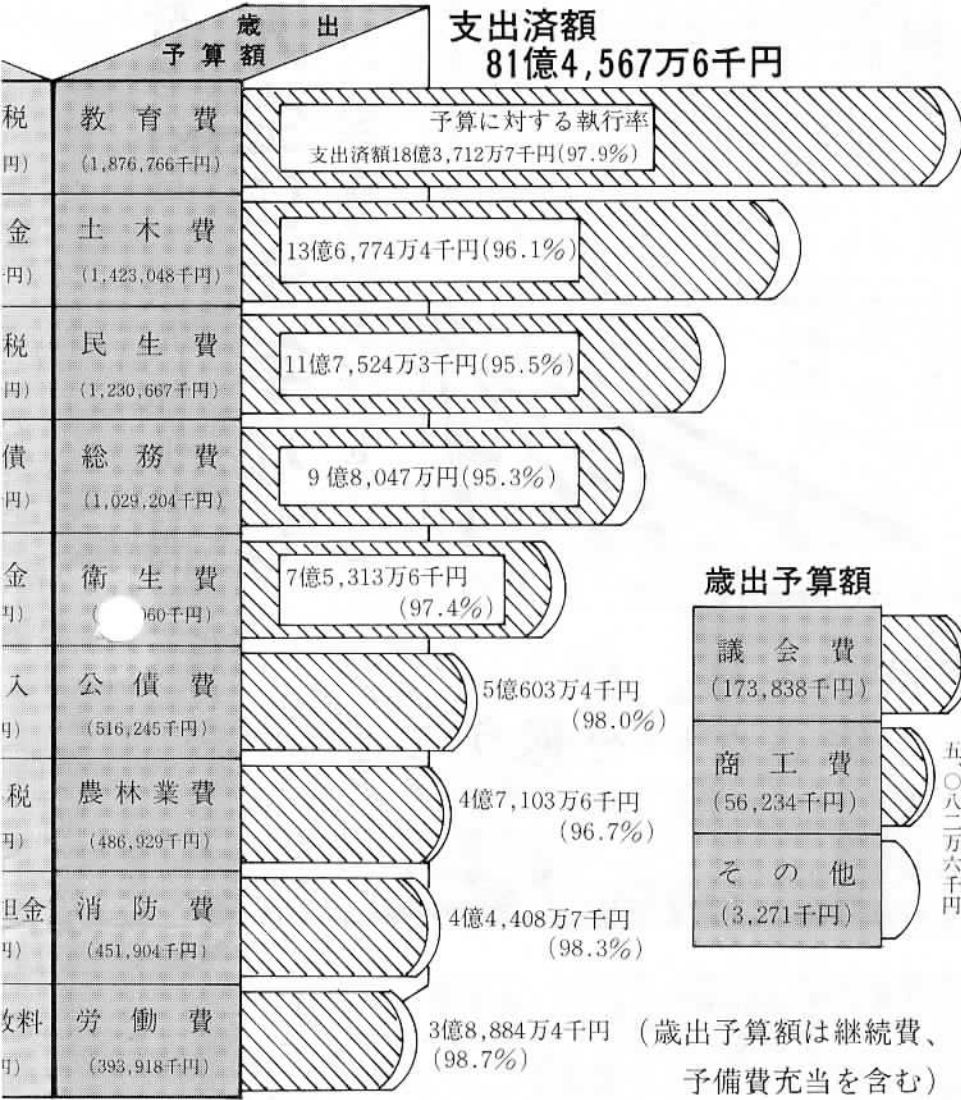
どうぞ粉石けん使用運動、天ぷら油の廃油の回収等、雑排水の浄化にご協力下さい。

私達石岡の市民は現在地下に恵まれています。地下に恵まれているお世話になる日があると思います。

どうぞ子孫のためご協力下さるようお願い致します。

の台所

会計決算の状況



石岡市告示第95号 財政事情書
 わたしたちの市の財政状況(昭和56年1月~昭和56年6月)をお知らせします。
 昭和56年8月1日
 石岡市長 山本 吉藏

「財政事情書」とは
 わたしたちの市の財政がどうなっているかを中心に、年二回に分けて、予算執行状況、市税負担や市税の構成など、市の行政のあらましを皆さんにお知らせするものです。

五十五年度決算の状況

五十五年度一般会計当初予算は、歳入歳出それぞれ七十七億七千万円、その後八回の補正措置を行ないました結果、最終予算額は、八十四億一千万円となりました。

収入額は、八十四億八千二百十五万二千円で予算額に対し、七千二百五十二万二千円(〇・九%)の増収となりました。

また、支出額は、八十一億四千五百六十七万六千円でその支出割合は、九十六・九%となりこれらの歳入歳出差引額は、三億三千六百四十七万六千円(前年度四億四千四百六十六万二千円)となり翌年度へ繰越すこととなります。

農林業費
 この財政事情の公表をとおして、皆さんの市政に対するご理解をいただき一層のご協力をお願いいたします。

第二次農業構造改善事業
 四、二五九万二千円
 農道舗装事業
 一、〇七三万六千円
 山王川流域水路整備事業
 一、五九九万九千円
 農道舗装事業
 一、三八〇万円
 地籍調査事業
 一、八九三万二千円

農林業費

五十三年度、簡易水道事業会計は、歳入歳出それぞれ七十七億七千万円、下水道事業会計六億八千万円、駐車場会計九千九百八十八万円をそれぞれ翌年度へ繰越すこととなります。

なお、予算の執行にあたっては、厳しい財政状況下ではありましたが、大部分の事業について当初の目的を達成することができました。



第二次農業構造改善事業 稲乾燥調整施設

労働費



勤労青少年ホーム建設事業
 三、四、六五七万円
 勤労者体育施設建設事業
 三、四、三五五万円
 勤労青少年ホーム

年度の主な事業

教育費

- 府中小学校増改築事業 二、四、一二九万三千円
- 杉並小学校増築事業 一、七、三三五万五千円
- 府中学校増築事業 一、六、六八三万六千円
- 府中学校柔剣道場建設事業



府中小学校増改築事業

民生費

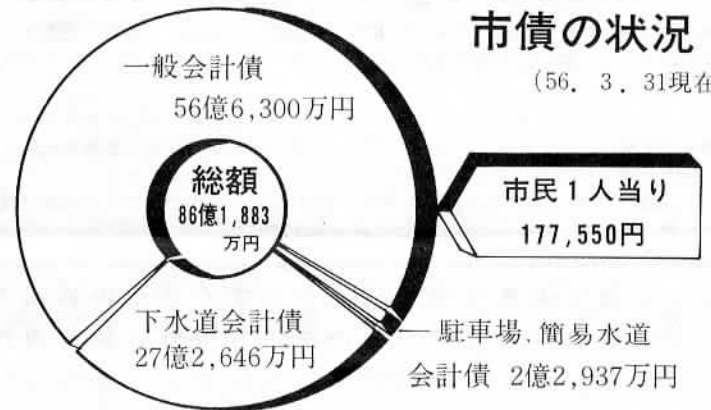
- 城南中学校改修工事 八、三六三万二千円
- 常陸国分尼寺跡環境整備事業 六、一五八万円
- 府中城跡土塁環境整備事業 一、〇〇〇万円
- 陣屋門補修工事 七、三五五万五千円
- 少年スポーツ広場整備事業 二、三九五万五千円
- 一、〇〇〇万円



児童センター建設事業 八、二一九万五千円

市債の状況

(56. 3. 31現在)



わたしたちの納めた税金

市民税	1,348,852千円
固定資産税	1,123,849千円
電気税	198,173千円
都市計画税	167,064千円
たばこ消費税	164,823千円
特別土地保有税	17,071千円
軽自動車税	16,766千円
木材引取税	7千円

市有財産の状況

(56. 3. 31現在)



昭和56年度一般会計予算執行状況

歳入

(単位:千円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額, 今期(4月~6月)増加額, 予算現額, 収入済額(4月~6月), 予算に対する収入割合. Rows include 市税, 地方譲与税, 自動車取得税交付金, etc.

歳出

(単位:千円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額, 今期(4月~6月)増加額, 予算現額, 今期(4月~6月)支出済額, 予算に対する支出割合. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

また、今期内の収入済額は市税など二億二千八百九十八万三千円、教育費七百四十三万九千円、教育費七百四十三万九千円、教育費七百四十三万九千円...

56年度 予算執行状況 一般会計の当初予算額は、七十八億円で前年度に比べて〇・四%の伸びとなっています。今期(4月~6月)において補正措置をおこないました結果、予算総額は、七十八億六千二百万円となりました。

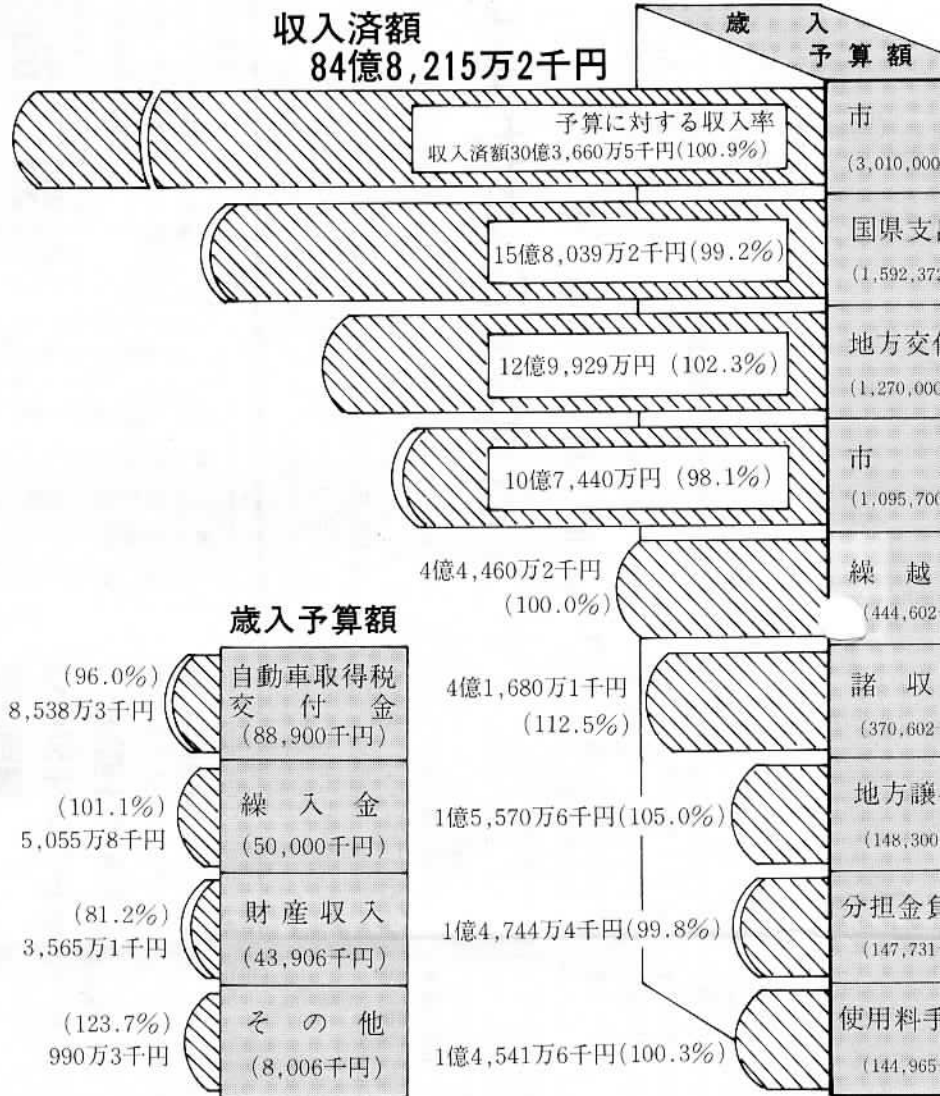
市の概況

56. 4. 1現在

人口 48,543人
世帯数 13,561世帯
面積 63.34km²

本市

55年度一般



昭和56年度特別会計予算執行状況 (単位千円)

Table with 6 columns: 区分, 予算現額, 収入済額, 収入割合, 支出済額, 支出割合. Rows include 授産所, 国民健康保険, 簡易水道, etc.



消防費 はしこ付消防ポンプ自動車購入 五、二〇〇万円
防火水槽新設工事 一、一〇〇万円
消火栓新設工事 一、二六二万四千円
柏原出張所車庫増築事業 四一八万円

土木費 市道改良舗装事業 37,918万円
交通安全対策事業 1,170万9千円
排水路整備事業 6,791万8千円
市営住宅建設事業 8,563万1千円
村上・六軒線街路事業 10,823万6千円
兵崎・大谷津線街路事業 6,352万円
柏原池公園整備事業 2,583万2千円
中央児童公園整備事業 13,832万円

衛生費 メイカルセンターに設置した臨床機器 四、二四〇万二千円
臨床検査機器購入

総務費 二、四七六万一千円
生板台区画整理事業 五八〇万円

55年度 総務費

55年度特別会計決算の状況



Table showing tax burden and repayment for citizens. 一世帯当り 223,922円 (市税収入), 一世帯当り 600,669円 (支出). Breakdown includes municipal tax, fixed asset tax, electricity tax, etc.



